

平成十七年度「卒業研究」論題一覧

『日本霊異記』にみる行基菩薩について

山下 裕加

伊弉諾・伊弉冊説話をめぐって

—古今著聞集・好色の序の意味するもの—

見付 育子

『日本霊異記』に見られる観音菩薩について

吉富友理佳

説話における孔子像を考える  
安倍仲磨説話の研究

小野塚 愛  
小野塚 愛

『日本霊異記』に見られる夢についての考察

杉本 容子

小野小町説話の研究

—虚像と実像をめぐって—

松井 麻美

『日本霊異記』から『今昔物語集』へ

三崎 優子

伴大納言の説話をめぐって

蓮沼 由佳

『日本霊異記』における悪業について

永田美登里

紀貫之像の考察

椎谷めぐみ

『日本霊異記』にみる行基について

谷間 美樹

大和物語の受容

長谷川由紀

『万葉集』の狐く『日本霊異記』を基点として

飯島有梨沙

—中世説話集を中心として—

清少納言の説話をめぐって

高見堂里佳

『古事記』『日本書紀』に見られる雄略天皇について

井上 桃子

赤染衛門の研究

鈴木由季子

和泉式部の説話をめぐって

兎澤 綾乃

『伊勢物語』『源氏物語』の関係性について

一倉 理沙

保輔説話をめぐる考察

東峯 一途

『古今集』研究

—鳥の歌の視点から見た配列の工夫—

高梨かおり

小式部内侍像をめぐって

—宇治拾遺物語を中心に—

松井 夕佳

仲胤僧都と平茸

早田美由貴

江戸川乱歩『D坂の殺人事件』『屋根裏の散歩者』

読誦功德譚を巡って

伊藤みなみ

『仮面の告白』—三島由紀夫について

宇治拾遺物語と古本説話集

—今昔物語集を中心に—

片岡みなみ

森鷗外『舞姫』論

宇治拾遺物語

「後朱雀院丈六の仏造り奉り給ふ事」をめぐる

藤井 麻美

義家朝臣の人物像の考察

重富 祐季

『冬の傀儡師殺人事件』

西行説話の考察

羽原有希子

『パントマイム・ピエロ』

宇治拾遺物語「東大寺華嚴会の事」

大村 祐美

『スコップドリの伝記』における宮澤賢治

十訓抄と俊頼髓脳

—和歌説話の受容をめぐる—

秋津実紗子

『他人の顔』—夫と妻

『去来抄』における「本意」・「本情」

永井 愛子

『グスコップドリの伝記』における宮澤賢治

『坊っちゃん』と夏目漱石

石田 梨紗

『冬』の傀儡師殺人事件

『パントマイム・ピエロ』

立岩 真衣

『小説』『今日明日明後日』

須田 香名

『小説』『ガールフレンド』

後藤 眞伊

『小説』『ボンベイサファイア・ブルー』

野中 美穂

『小説』『bloom rain』

湯野 愛子

『日本一鑑』名彙「称呼」について

三上 綾乃

『日本一鑑』「称呼門」について

樋渡絵里奈

『日本一鑑』「称呼」について

小峰 千鶴

『日本一鑑』「称呼」について

岸井 朋未

『日本一鑑』「称呼」について

石井絵里奈

- 『日本一鑑』 「称呼門」 について 菊池原麻衣
- 『日本一鑑』 「称呼門」 について 木下 朋子
- 『日本一鑑』 「称呼門」 についての研究 池上 智恵
- 『日本一鑑』 名彙 「称呼」 についての研究 山口垂里沙
- 『日本一鑑』 名彙 「称呼」 についての研究 渡邊 渚
- 『東山往來』 上巻の国語学的研究 干川 智美
- 『東山往來』 下巻の国語学的研究 皆藤早耶歌
- 應永十一年書寫本